

第2節 予防対策

1 感染症

(1) 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

① 1～3類感染症の発生状況

A. 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	—	—	—	—	—
2類	急性灰白髄炎	患者等	—	—	—	—	—
	ジフテリア	患者等	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	患者等	—	—	—	—	—
	結核	患者等	61	78	59	70	95
2類感染症 小計			61	78	59	70	95
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	9	12	6	11	17
		無症状病原体保有者	2	3	—	—	4
	コレラ	患者等	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	患者	1	—	—	—	2
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	腸チフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	パラチフス	患者	1	—	—	1	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
疑似症患者		—	—	—	—	—	
3類感染症 小計			13	15	6	12	23

※平成19年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、感染症分類の見直しが行われた。コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフスが2類から3類に変更され、新たに、結核・重症急性呼吸器症候群が2類感染症に位置づけられた。

B. 平成23年度月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	平成23年										平成24年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類	結核	9	7	10	11	5	9	6	11	10	8	5	4	95	
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ジフテリア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	—	1	3	7	7	2	1	—	—	—	—	—	21	
	コレラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	パラチフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		9	8	13	18	12	11	7	11	12	8	5	4	118	

② 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

（単位：件）

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				施設数
		医療機関	介護保険施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	2	4	2	—	8
感染性胃腸炎	ロタウイルス	—	—	2	—	2
感染性胃腸炎	アデノウイルス	—	—	1	—	1
感染性胃腸炎	不検出	—	—	8	—	8

③ 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

1) 感染症対策従事者研修会（基礎編）

テーマ	感染性胃腸炎発生時の対応
日時	平成23年8月29日・平成23年9月5日 15:00～16:30
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津市保健所保健予防課 山田由香里（保健師）
参加者数	計97人

感染症対策従事者研修会（リーダー編）

テーマ	感染症集団発生時の対応について～感染症危機管理の視点から～
日時	平成23年9月12日 15:00～16:30
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津市保健所保健予防課 山田由香里（保健師）
参加者数	86人

感染症対策従事者研修会（医療従事者対象）

テーマ	感染症予防とワクチン接種の有効性～新たなワクチンの動向と麻しん排除計画～
日時	平成24年3月22日 15:00～16:30
対象者	市内の医療・保健関係者
講師	国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子室長
参加者数	73人

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

2) 感染症対策出前研修会

テーマ	施設における感染予防について
内容	標準的予防策・疾患の理解（結核・ノロウイルス感染症・肝炎・HIV・インフルエンザ）・初動活動の基本（ノロウイルス感染症アウトブレイクの検証）
対象施設	社会福祉施設（通所・入所施設を優先）
講師	感染症対策担当保健師
出前施設数	10施設
参加者数	280人

3) 感染管理実務担当者会議

議題	①情報提供（感染症の発生状況・感染症対策に関する事業） ②各施設における感染症対策研修会の取り組みについて情報交換 ③講座「感染症情報の有効活用について」
日時	平成23年8月10日 15:00～17:00
対象者	市内病院感染管理看護師・感染症対策担当者、社会福祉施設の感染症対策担当者 市役所所管課（福祉・教育関係課）の感染症対策担当者
参加者数	27人

4) 感染症発生動向調査委員会

議 題	①情報提供（感染症発生状況、情報配信状況等） ②情報還元方法についての検討 ③結核対策について ④有効なウイルス検査について
日 時	平成 24 年 3 月 22 日 14:00～16:00

④ 高病原性鳥インフルエンザ対策

市内での発生を想定し、マニュアルに沿った保健所職員の研修会及び防疫作業に従事する県職員を対象に防護服の着脱研修会を実施した。

開催日	参加者	内容
平成 23 年 11 月 9 日	保健所職員 19 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習
平成 23 年 11 月 14 日	保健所職員 17 人	・ 高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割 ・ 防護服着脱演習・防護服着脱演習
平成 24 年 1 月 30 日	滋賀県庁職員 80 人	・ 防護服着脱演習 ・ 殺処分従事時当日の流れ

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況

(入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの)

(単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	合計
	本人	家族	一般	退職					
				本人	家族				
前 年 末 数	1	-	2	-	-	3	-	-	6
新規承認数	7	1	6	-	-	17	1	-	32
解 除 数	8	1	6	-	-	20	1	-	36
本 年 末	-	-	2	-	-	-	-	-	2

(H23年1月～12月末)

(2) 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況

(結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の95%に相当する額を公費負担するもの)

(延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医 療保険	生活 保護法	その他	合計
	本 人	家 族	一般	退 職					
				本 人	家 族				
申 請	35	10	32	1	2	42	4	-	125
承 認	35	10	32	1	2	42	4	-	125
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(H23年1月～12月末)

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況 (年齢階級別)

(単位：人)

年齢	新登録患者		活動性結核							潜在性結核感 染症 (別掲)
	患者数	罹患率	総数	活動性肺結核						
				喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他	肺外 結核	
				初回 治療	再治療	計				
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
20～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
30～39歳	5	10.3	4	1	-	1	-	3	1	5
40～49歳	5	10.4	3	2	-	2	-	1	2	8
50～59歳	4	9.6	4	1	1	2	1	1	-	4
60～69歳	17	35.5	10	6	-	6	2	2	7	4
70歳以上	39	78.3	25	17	-	17	7	1	14	-
合 計	70	20.6	46	27	1	28	10	8	24	30

(平成23年1月～12月)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(平成 23 年 12 月末現在)

区分	登録患者		活動性結核								有病率	不活動性結核	不明	潜在性結核感染症 (別掲)
	登録者数	登録率 (人口 10 万対)	活動性 結核 総数	活動性肺結核					肺外結核					
				肺結核 総数	登録時喀痰塗抹 陽性			登録時その 他の結核 菌陽性		その 他				
					初回 治療	再 治療	計							
0～4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
5～9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
10～14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
15～19 歳	1	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
20～29 歳	1	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
30～39 歳	16	33.0	5	4	2	-	2	-	2	1	10.3	4	7	5
40～49 歳	14	29.2	6	4	2	-	2	1	1	2	12.5	2	6	13
50～59 歳	10	23.8	4	4	1	1	2	1	1	-	9.6	2	4	6
60～69 歳	33	68.9	13	9	6	-	6	2	1	4	27.1	15	5	6
70 歳以上	66	132.6	35	22	14	1	15	6	1	13	70.3	21	10	3
合計	141	41.5	63	43	25	2	27	10	6	20	18.5	44	34	47

(5) 結核登録除外状況 (平成 23 年度)

(単位: 件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	その他の理由	計
	結核	その他					
大津市	4	11	23	4	1	-	43

(6) 結核患者保健指導 (平成 23 年)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。

対象者 (新規登録者): 100 人

実施方法及び件数: 訪問 68 件、来所 7 件、電話 25 件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (平成 23 年)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。

対象者: 136 人

実施方法及び件数 (延べ): 訪問 68 件、電話 49 件、来所 19 件

(8) 接触者健康診断 (平成 23 年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第 17 条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数: 651 人、受診者総数: 634 人 (職場健診等他機関実施分 15 人含む)、受診率: 97.4%

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分
受診者数 (延人数)		584 人	35 人
内訳	胸部エックス線検査	362 人	35 人
	ツベルクリン反応検査	203 人	13 人
	クオンティフェロン検査	195 人	1 人

※検査項目の重複実施あり

健診結果: 異常なし 614 人、潜在性結核感染症 19 人、肺結核 1 人

3 特定感染症

「性感染症に関する特定感染症予防指針」（平成 12 年 2 月厚生省告示第 15 号）及び「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」（平成 18 年 3 月厚生労働省告示第 89 号）に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、H I V 抗体検査、梅毒検査、肝炎ウイルス検査を実施している。

また、「特定感染症検査事業の実施についての一部改正について」（平成 23 年 3 月 29 日厚生労働省健康局長通知）に基づき、「大津市 HTLV-1 相談・検査事業実施要領を定め、平成 23 年 9 月より HTLV-1 抗体検査を実施している。

(1) 相談数

(単位：件)

区 分		来所 (検査時含む)	電話	合計	
梅毒	男	154	1	155	
	女	122	3	125	
H I V	男	248	31	279	
	女	193	22	215	
	相談内容延件数 (単位：件)		986	70	1056
	相 談 内 容	症状について	273	29	302
		検査について	235	31	266
		感染経路	242	11	253
		予防方法	201	2	203
		患者発生状況	24	5	29
	その他	43	5	48	
H B s	男	156	4	160	
	女	97	4	101	
H C V	男	151	2	153	
	女	84	2	86	
HTLV-1	男	—	—	—	
	女	1	5	6	

(2) 特定感染症検査実施状況

【検査日時】

毎月第 2・4 火曜日 13:10~15:30 計 24 回

即日検査 (H I V 抗体、梅毒、B 型肝炎ウイルス検査、C 型肝炎ウイルス検査)

毎月第 2 火曜日 16:00~16:30 計 7 回

通常検査 (HTLV-1 抗体検査)

○検査受検者数

(単位：人)

区 分		19 歳以下	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50 歳以上	合計
梅毒	男	3	48	64	22	17	154
	女	4	61	15	10	4	94
H I V	男	3	55	72	27	21	178
	女	4	63	23	14	4	108
H B s	男	3	49	62	24	21	159
	女	4	62	17	10	5	98
H C V	男	1	49	59	23	21	153
	女	4	62	16	1	5	88
HTLV-1	男	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	1	1

(3) H I V 普及啓発事業

H I V・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内店舗の協力や大学との連携により啓発活動を行っている。

○H I V検査普及週間関連イベント（平成 23 年 6 月 1 日～6 月 7 日）

協力店舗（レンタルビデオ店、カラオケボックス、ゲームセンター等）9 店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：579 部

○おおつ健康フェスティバル

啓発コーナーの設置

啓発資材配布数：200 部

○大学学園祭（平成 23 年 11 月 11 日～11 月 12 日） 1 校

啓発コーナーを設置

啓発資材配布数：650 部

○世界エイズデー関連イベント（平成 23 年 12 月 1 日～12 月 9 日）

協力店舗（ラブホテル）5 店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：666 部

保健所ロビーに啓発コーナーを設置

（４）緊急肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

○受検者数

（単位：人・件）

区 分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	1	1	1

（５）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

○申請受付状況（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

（単位：件）

種別・性別	年齢	～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	計
B 型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	1	-	-	-	-	-	1
C 型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	3	8	4	11	5	-	31
	女	-	1	3	3	4	5	5	-	21
	計	-	1	6	11	8	16	10	-	52
インターフェロン 治療 計	男	-	-	4	8	4	11	5	-	32
	女	-	1	3	3	4	5	5	-	21
	計	-	1	7	11	8	16	10	-	53
B 型肝炎 核酸アナログ製剤 治療	男	-	-	6	23	14	17	9	-	69
	女	-	-	-	6	7	11	3	-	27
	計	-	-	6	29	21	28	12	-	96
インターフェロン治療 核酸アナログ製剤 治療 合計	男	-	0	10	31	18	28	14	-	101
	女	-	1	3	9	11	16	8	-	48
	計	-	1	13	40	29	44	22	-	149

4 予防接種

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第3条に基づき各種予防接種を実施している。

また、平成23年2月より任意接種ワクチン（ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん）の公費助成を開始した。

○定期接種予防接種者数

ポリオ

(単位：人・%)

年度	対象者数		計	対象接種者数			接種率	対象外接種者数			総接種者数
	1回目	2回目		1回目	2回目	計		1回目	2回目	計	
21	2,869	3,035	5,904	2,179	1,561	3,740	63.3	644	1,204	1,848	5,588
22	3,264	3,234	6,498	2,242	1,750	3,992	61.3	808	1,443	2,251	6,243
23	3,256	3,340	6,596	2,407	2,692	5,099	77.3	101	78	179	5,278

※対象外接種者とは、定期接種対象年齢で、市が指定する標準的な対象年齢以降に接種した者である。

三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）

(単位：人)

年度	I期初回			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
21	2,996	3,032	2,993	3,227	12,248
22	3,150	3,122	3,110	3,234	12,616
23	3,096	3,116	3,098	3,119	12,429

BCG

(単位：人・%)

年度	対象者	接種者	接種率
21	2,937	2,840	96.7
22	3,181	2,965	93.2
23	2,935	2,806	95.6

高齢者インフルエンザ

(単位：人・%)

年度	対象者	接種者	接種率
21	66,515	30,947	46.5
22	67,949	33,980	50.0
23	69,612	34,103	48.9

日本脳炎

(単位：人・%)

年度	I期（初回接種）				I期（追加接種）			II期（追加接種）			延べ接種者数
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
		1回目	2回目								
21	3,095	2,339	2,140	69.1	3,180	772	24.3	3,496	502	14.4	5,753
22	3,250	6,776	6,583		3,102	2,425		3,429	1,814		17,598
23	3,237	5,713	5,535		3,285	6,209		3,437	7,156		24,613

※I期初回接種率=2回完了者/対象者

※平成17年5月30日から平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※平成22年4月1日から3歳児の接種勧奨を再開。

※平成23年5月20日より、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和されました。

二種混合（ジフテリア・破傷風）（単位：人・％）

年度	対象者	接種者	接種率
21	3,363	2,921	86.9
22	3,652	2,790	76.4
23	2,935	2,806	95.6

麻しん・風しん

（単位：人・％）

年度	第1期			第2期			
	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
21	3,125	麻風混合	2,855	3,359	麻風混合	3,171	94.4
		麻しん	2		麻しん	1	
		風しん	1		風しん	0	
22	3,011	麻風混合	2,949	3,222	麻風混合	3,026	94.1
		麻しん	-		麻しん	2	
		風しん	1		風しん	3	
23	3,108	麻風混合	2,874	3,253	麻風混合	2,830	86.9
		麻しん	3		麻しん	-	
		風しん	-		風しん	-	

	第3期			第4期			延べ接種者数		
	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者				
H21年度	3,274	麻風混合	2,738	3,459	麻風混合	2,575	74.4	麻風混合	11,339
		麻しん	1		麻しん	2		麻しん	6
		風しん	5		風しん	11		風しん	17
H22年度	3,454	麻風混合	2,794	3,449	麻風混合	2,461	72.9	麻風混合	11,230
		麻しん	-		麻しん	-		麻しん	2
		風しん	2		風しん	50		風しん	56
H23年度	3,447	麻風混合	3,040	3,438	麻風混合	2,939	86.1	麻風混合	11,683
		麻しん	-		麻しん	2		麻しん	5
		風しん	3		風しん	21		風しん	24

○任意接種費用助成件数

ヒブ 平成23年度：11,202件（対象者：生後2ヶ月から5歳未満）

小児用肺炎球菌 平成23年度：13,252件（対象者：生後2ヶ月から5歳未満）

子宮頸がん 平成23年度：14,081件（対象者：中学校1年生から高校1年生の女性）

※いずれも全額公費負担

5 特定疾患

当該事業は、滋賀県特定疾患治療研究事業であり、県から委託を受け特定疾患医療受給者証の申請受付及び経由事務を行っている。

(1) 特定疾患医療受給者証申請者数

(単位：人)

医療受給者数	新規申請者数	更新申請者数
2,125	332	2,021

(平成24年3月31日現在)

(2) 特定疾患医療受給者数

(平成24年3月31日現在) (単位：人)

	疾患名	合計	男	女	0～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
1	ベーチェット病	35	18	17	-	1	-	8	7	9	10
2	多発性硬化症	42	5	37	3	2	11	10	9	4	3
3	重症筋無力症	54	16	38	2	-	1	5	12	16	18
4	全身性エリテマトーデス	122	18	104	3	15	20	20	21	26	17
5	スモン	6	-	6	-	-	-	-	-	1	5
6	再生不良性貧血	25	5	20	1	1	2	1	4	3	13
7	サルコイドーシス	49	15	34	-	1	6	3	8	12	19
8	筋萎縮性側索硬化症	19	6	13	-	-	1	3	3	7	5
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	79	12	67	-	2	2	5	13	24	33
10	特発性血小板減少性紫斑病	56	13	43	-	2	4	8	12	10	20
11	結節性動脈周囲炎	20	8	12	-	-	2	2	3	4	9
12	潰瘍性大腸炎	454	252	202	9	48	89	119	73	70	46
13	大動脈炎症候群	10	-	10	-	-	3	2	-	1	4
14	ビュルガー病	18	15	3	-	-	2	-	2	6	8
15	天疱瘡	10	5	5	-	-	1	1	1	4	3
16	脊髄小脳変性症	48	23	25	-	1	1	3	4	19	20
17	クローン病	87	57	30	4	17	24	21	8	9	4
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	悪性関節リウマチ	20	6	14	-	-	2	-	4	9	5
20	パーキンソン病関連疾患	379	159	220	-	-	-	3	15	78	283
21	アミロイドーシス(原発性)	6	4	2	-	-	-	-	-	3	3
22	後縦靭帯骨化症	63	41	22	-	-	-	4	9	14	36
23	ハンチントン舞踏病	6	5	1	-	-	1	1	2	1	1
24	モヤモヤ病	37	17	20	5	5	7	9	5	5	1
25	ウェゲナー肉芽腫症	4	2	2	-	-	-	-	-	2	2
26	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	129	101	28	-	3	8	14	20	43	41
27	多系統萎縮症	43	18	25	-	-	-	1	4	14	24
28	表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	膿疱性乾癬	5	3	2	1	-	-	2	1	1	-
30	広範脊柱管狭窄症	18	14	4	-	-	-	-	1	8	9
31	原発性胆汁性肝硬変	50	9	41	-	-	1	1	11	18	19
32	重症急性膵炎	7	5	2	-	-	-	2	-	1	4
33	特発性大腿骨頭壊死症	51	29	22	-	3	8	5	9	13	13
34	混合性結合組織病	18	5	13	1	-	3	2	4	4	4
35	原発性免疫不全症候群	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	14	10	4	-	-	1	-	1	1	11
37	網膜色素変性症	58	21	37	-	1	2	5	8	16	26
38	プリオン病	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1
39	原発性肺高血圧症	6	3	3	-	-	2	1	-	2	1
40	神経線維腫症	13	5	8	3	3	1	1	1	3	1
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	バッド・キアリ(Budd-chiari)症候群	4	3	1	-	-	-	1	-	2	1
43	特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧)	3	-	3	-	-	-	-	1	1	1
44	ライソゾーム病(ファブリー病含む)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	家族性高コレステロール血症	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1

	疾患名	合計	男	女	0～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
47	脊髄性筋萎縮症	2	2	-	1	-	-	-	-	-	1
48	球脊髄性筋萎縮症	3	3	-	-	-	-	-	1	2	-
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5	4	1	-	-	-	-	2	2	1
50	肥大型心筋症	7	4	3	-	-	-	1	1	3	2
51	拘束型心筋症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	ミトコンドリア病	2	1	1	-	-	-	1	-	-	1
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55	黄色靱帯骨化症	5	4	1	-	-	-	1	-	1	3
56	間脳下垂体機能障害	30	13	17	-	7	6	2	7	6	2
	合計	2,125	960	1,165	33	112	212	268	287	478	735

6 難病

難病対策推進事業

(1) 特定疾患新規申請及び更新申請時面接相談 (単位：人)

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
332	313	2,021	1,590

(2) 難病患者訪問指導及び面接相談 (単位：人)

	訪問指導		面接相談	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
筋萎縮性側索硬化症	10	46	6	6
その他の難病	24	43	16	16
計	34	89	22	22

(3) 患者及び家族交流会、相談会

① 多発性硬化症医療講演会及び相談会

草津保健所と合同開催

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成 23 年 10 月 29 日 大津市生涯学習 センター	患者 5 人 家族 8 人 計 13 人 (参加総数 15 人)	講演「多発性硬化症の基礎知識と日常生活の注意点」 講師：松井 大 氏 (大津赤十字病院神経内科)

② サルコイドーシス医療講演会及び交流会

草津保健所と合同開催

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成 23 年 11 月 26 日 草津保健所	患者 5 人 家族 3 人 計 8 人 (参加総数 14 人)	講演「サルコイドーシスの基礎知識と日常生活の注意点」 講師：長井 苑子 氏 (京都健康管理研究会中央診療所)

③ パーキンソン病医療講演会及び相談会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 23 年 11 月 10 日 明日都浜大津	患者 29 人 家族 18 人 関係機関 33 人 計 80 人	講演：①「パーキンソン病とうまくつき合うために」 ②「パーキンソン病のリハビリテーションと 日常生活の工夫について」 講師：①松井 大 氏 (大津赤十字病院神経内科) ②大橋 潤一 (理学療法士) (大津市保健所保健総務課)

(4) 難病従事者研修会

① 神経難病従事者研修会 1

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 23 年 12 月 19 日 大津市役所	介護支援専門員 50 人 訪問介護員 17 人 その他 22 人 計 89 人	講演：「神経難病のマネジメントに必要な基礎知識 ～病状の進行に応じたマネジメントや QOL を高める 支援のために知っておきたいこと～」 講師：園部 正信 (医師) (大津市民病院神経内科)

② 神経難病従事者研修会 2、3

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 24 年 1 月 17 日 大津市生涯学習 センター	介護支援専門員 22 人 訪問介護員 17 人 その他 10 人 計 49 人	講演：「神経難病患者の摂食・嚥下障害の理解」 講師：松田 芳恵（言語聴覚士） （大津市民病院リハビリテーション部）
平成 24 年 2 月 14 日 大津市生涯学習 センター	介護支援専門員 18 人 その他 3 人 計 21 人	講演：「摂食・嚥下障害のある難病患者の マネジメントについて」 事例検討：「摂食・嚥下障害のある多系統萎縮症患者の 支援について」 講師：松田 芳恵（言語聴覚士） （大津市民病院リハビリテーション部）

③ ヘルパー吸引基礎研修

開催日・場所	参加人員	内 容	講 師
平成 23 年 6 月 13 日 滋賀医科大学 医学部附属病院	訪問介護員 14 人	講義：吸引に必要な 医学的知識の理解 実技：吸引手技の実 際	講師：金 一暁 氏 （滋賀医科大学附属病院神経内科） 梨木 由美子 氏 黒木 愛 氏 （滋賀医科大学附属病院病棟看護師）
平成 23 年 6 月 27 日 大津市民病院	訪問介護員 18 人		講師：園部 正信（医師） （大津市民病院神経内科） 上路 由美（看護師） 多田 明美（看護師） （大津市民病院 5 C 病棟）

(5) 在宅療養支援計画策定・評価事業

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。

○在宅療養支援計画・評価：年 24 回実施

(6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のQOLの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を 2 回開催した。

○在宅難病患者の安全・安楽な在宅ケアについて関係者と共に検証した。

アドバイザー：湖青会青木医院 理学療法士 出野 智子 氏
大津市訪問看護ステーション 所長 古田 恵美子（看護師）

参加者：相談支援事業所相談支援専門員、訪問看護師、訪問介護員、理学療法士等 13 人

○在宅難病患者の療養支援体制についてアドバイザーより助言を得て、関係者と共に体制の構築を図った。

アドバイザー：京都大学医学部附属病院神経内科 医師 櫻井 健世 氏

参加者：専門医療機関主治医、在宅医、訪問看護師、相談支援事業所相談支援専門員等 9 人

(7) 訪問指導（診療）事業

要支援難病患者やその家族に対して、専門医、理学療法士等による訪問指導班を構成し、在宅療養に必要な医学的指導等を行うことにより、療養生活上の不安を緩和することを目的として 2 回実施した。

○病状が進行した神経難病患者の医療ケアについて、患者・家族が専門医より医学的指導を受けることで、医療ケアの選択について不安が軽減した。

指導者：県立成人病センターリハビリテーション科 医師 中馬 孝容 氏
県立リハビリテーションセンター 保健師 後藤 則子 氏

○長期在宅療養中の神経難病患者の医療ケアについて、専門医より医学的指導を受けることで、療養上の課題が解決できた。

指導者：大津市民病院神経内科 園部 正信（医師）

（８）在宅療養支援体制の整備に関する事業

① 難病患者の在宅医交流会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 24 年 2 月 4 日 大津市保健所 1 階小会議室	在宅医 6 人	・ A L S 等神経難病患者を担当する在宅医を対象とした交流会を開催し、訪問診療の実情や難病患者の在宅療養上の課題等についての意見交換

② 難病患者に対する訪問看護ステーション対応調査

調査期間	調査対象	内 容
平成 24 年 1 月 10 日 ～1 月 27 日	大津市内 1 6 か所の 訪問看護ステーション	・ 難病患者に対する訪問看護の実情や課題の把握

③ 大津市神経難病在宅支援対策推進会議

開催日・場所	出席者	内 容
平成 24 年 3 月 8 日 大津市保健所 2 階大会議室	難病医療拠点・協力病院等 関係機関 26 人	・ 神経難病患者の療養状況についての情報交換 ・ 在宅神経難病患者に対する取り組み状況報告 ・ 次年度の事業計画、災害対策についての検討

（９）各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会及び相談会において、友の会の活動内容や加入の呼びかけを行った。

② ケアクラフト 002（自助具工房）活動支援

特定疾患更新申請時に各会場で自助具の展示コーナーを設置し、自助具や活動内容の紹介等を行った。また、パーキンソン病医療講演会及び相談会において、自助具の展示コーナーを設けた。

7 精神保健

(1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況

(単位：人)

等級	1 級	2 級	3 級
18 歳以上	139	965	387
18 歳未満	1	3	3
計	140	968	390
	1,498		

管内年次推移

(単位：人)

等級	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
1 級	64	84	78	96	114	112	125	140
2 級	406	526	626	738	841	808	876	968
3 級	169	226	274	317	351	341	372	390
計	639	836	978	1,151	1,306	1,261	1,373	1,498

② 通院医療費公費負担状況 (延べ数)

(単位：件)

市町名	計		20 歳未満		20～29 歳		30～39 歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	1,666	1,874	106	76	170	240	418	415
	3,540		182		410		833	

市町名	40～49 歳		50～59 歳		60～64 歳		65 歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	442	470	264	287	132	159	134	227
	912		551		291		361	

(2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相 談 (再掲)								
	新規者の受付経路				延 人 員								
	実人員	市町	医療機関	その他	実人員	社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計
男	134	5	1	44	106	20	2	12	-	56	37	88	215
女	109	10	3	40	75	-	2	1	1	6	33	77	120
計	243	15	4	84	181	20	4	13	1	62	70	165	335

区分	デイケア (再掲)		訪 問 指 導 (再掲)										電話相談 (含メール) 延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員									
				社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計		
男	-	-	28	1	-	6	-	5	9	23	44	1,621	
女	-	-	34	-	4	1	-	-	4	39	48		
計	-	-	62	1	4	7	-	5	13	62	92		

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	-	-	-	-	-	-
家族	-	-	-	4	3	5	-	12
保健師、福祉	-	-	-	-	-	3	-	3
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	4	3	8	-	15

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	-	-	-	-
家族	9	-	3	12
保健師、福祉	3	-	-	3
その他	-	-	-	-
合計	12	-	3	15

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	-	-	-	-	1	-	1
神経症	-	-	-	-	-	-	-	-
アルコール依存症疑	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
人格障害	-	-	-	-	-	1	-	1
妄想性障害	-	-	-	3	2	4	-	9
感情障害	-	-	-	-	-	-	-	-
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	3	-	3
発達障害	-	-	-	-	1	-	-	1
その他	-	-	-	1	-	2	-	3
合計	-	-	-	4	3	11	-	18

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	6
主治医に相談	-
対応指導	10
その他	3
合計	19

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	-	2	-	-	2
家族	2	13	6	-	21
保健師、福祉	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
計	2	15	6	-	23

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	2	-	-	2
家族	17	1	3	21
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
計	19	1	3	23

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	17
未就労	1
不登校・進路	1
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	4
計	23

D. 相談医の指示の内容

項目	件数
要医療、受診指導	2
主治医に相談	-
対応指導	18
その他	3
合計	23

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	-	-	-	-	-
社会的ひきこもり	-	4	2	-	6
広汎性発達障害疑	-	10	6	-	16
強迫性障害	-	-	-	-	-
摂食障害	-	1	-	-	1
うつ状態	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-
その他	2	2	2	-	6
計	2	17	10	-	29

③ ひきこもり心理相談

思春期相談で社会的ひきこもりや発達障害疑いと判断され、本人に対して継続的な相談が必要なケースについて、月1回、定例で心理士による面接を実施している。

12回 延べ30件 実人数3人

④ 定例ケース検討会開催状況

目的：精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況：9回

助言者：精神保健福祉センター 地区担当医 保健師

(単位：件)

開催回数		9
検討延べ件数		11
相談 経路	保健所の保健師	1
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	4
	あんしん長寿相談所のスタッフ	2
	学校の教師	-
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	1
	生活福祉課のケースワーカー	2
	障害者相談支援事業所の相談員	1
事例 の 対象	一般	5
	アルコール	-
	思春期	1
	薬物依存	-
	発達障害	3
	パーソナリティ障害	2
その他	-	

(3) 家族教室、家族交流会事業

① 家族教室

目的：病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ

対象：統合失調症圏の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族

区分	日時	内容	スタッフ
第1回	平成23年11月10日 10:00~12:00 参加者7家族・8人	医師による講話 「統合失調症という病気について」 家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎ
第2回	平成23年11月18日 10:00~12:00 参加者8家族・9人	大津市制度やサービスの紹介 家族交流	
第3回	平成24年1月18日 13:30~15:30 参加者4家族・4人 (家族交流会と合同開催)	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	

② 家族交流会

目的：精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族がゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる

対象：平成22年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族（79家族）

区分	日時	内容	スタッフ
第1回	平成23年7月7日 14:00~16:00 参加者15家族・16人	オアシスの郷施設説明・見学 ピアカウンセラー（当事者）の体験発表 家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎ
第2回	平成23年9月28日 13:30~15:30 参加者10家族・10人	ほわいとクラブの見学・施設説明 家族交流	
第3回	平成23年12月12日 13:30~15:30 参加者21家族・21人 (家族教室と合同開催)	湖の子会のお話 「湖の子会について、体験談」 家族交流	
第4回	平成24年2月28日 13:15~15:30 参加者22家族・23人	医師による講話 「お薬について」 家族交流	

③ ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもりケースの家族を対象に学習会および家族交流を通じて

- ・ひきこもりの理解をする。
- ・日頃の対応を見直せるよう支援する。

対象：思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された15歳以上のひきこもりケースの家族。（24家族）

区分	日時	内容	スタッフ
第1回	平成23年6月17日 14:00~16:00 参加者9家族12人	滋賀県ひきこもり支援センターについて 家族交流・意見交換 助言者 ひきこもり支援センター保健師	保健予防課 支援センターやすらぎ 障害福祉課
第2回	平成23年8月22日 14:00~16:00 参加者5家族6人	「ひきこもりとその対応・支援について」 助言者 臨床心理士 家族交流・意見交換	
第3回	平成23年10月20日 14:00~16:00 参加者5家族6人	情報提供 助言者 精神科医師（思春期相談担当） 家族交流・意見交換	
第4回	平成23年12月16日 14:00~16:00 参加者9家族13人	「就労支援の現場から」 家族交流・意見交換 助言者 ほわいとクラブ所長	
第5回	平成24年2月24日 14:00~16:00 参加者4家族5人	「制度利用について」 家族交流・意見交換 助言者 障害福祉課保健師	

(4) 精神保健福祉ボランティア育成

① 精神保健福祉ボランティア連絡会

精神保健福祉関連の施設や地域でのサロンにおいて活動中のボランティアに対し、情報交換の場や学習の機会を設け、ボランティアの自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として実施している。42人に案内送付した。

区 分	日 時	内 容
第1回	平成23年8月30日 14:00~16:00 参加者 10人	話題提供:保健所事業について 助言者:保健所保健師
第2回	平成24年2月21日 10:00~12:00 参加者 30人	話題提供:今年度の養成講座実施結果、発達障害の理解 グループワーク 助言者:保健所保健師

② 精神障害者地域生活協力員事業

精神障害者およびその家族を支援することにより、精神障害者の自立および社会活動参加の促進を図るとともに、精神障害者が地域で生活しやすい地域づくりに貢献することを目的として、精神障害者地域生活協力員を設置している。平成23年度で終了とする。

地域生活協力員の要件	<ul style="list-style-type: none"> 精神保健福祉センターや保健所などが主催する精神保健福祉ボランティア養成講座修了者 精神保健福祉分野におけるボランティア活動の実践者以上のなかで、保健所長が適当と認める者
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保健所など関係機関と連携しての活動 精神障害者および家族の講座、交流会、サロンなどへの協力 共同作業所など社会復帰施設や精神科病院における活動への協力 精神保健福祉関係のイベントや研修会における協力 精神保健福祉に関する普及啓発への協力 保健所主催の連絡会などへの参加 その他、保健所長が必要と認める事業への協力または参加
平成23年度の登録者	6人

③ 精神保健福祉ボランティア養成講座

精神疾患や精神障害について正しく理解し、その関わり方についての理解を深め、地域で支援を行うボランティアの養成を目的として開催した。また、精神保健についての理解者を増やしていくことも目的とした。

区 分	日 時	内 容	参加者
第1回	平成23年9月29日 14:00~16:00	講師:精神科医師 「心の病気について学ぼう」	54人
第2回	平成23年10月13日 14:00~16:00	傾聴体験と講義 講師:心理士 「傾聴・・・心に寄り添う」	50人
第3回	平成23年10月27日 14:00~16:00	講師:ボランティアセンター・コーディネーター 「ボランティア活動について」 施設見学実習打ち合わせ	44人
第4回	平成23年11月 1人1か所 半日1回	施設見学実習:4か所 (作業所、支援センター)	42人
第5回	平成23年12月15日 14:00~16:00	まとめ、今後の活動について 保健所事業案内	33人

(5) 精神障害者地域移行支援事業

症状が安定し、受入れ条件が整えば退院可能な精神障害者に対し、自立支援員を配置して、地域生活への移行に向けて、暮らすことの体験や生活の場の確保等の支援を行い、退院から地域生活に向けた支援の体制整備を図っていくことを目的として実施している。実施主体は県であり、県から委託を受けた地域生活支援センターとの協働事業として実施している。大津地域では平成20年度から本事業に取り組んでいる。平成23年度で県事業としては終了し、平成24年度は障害者自立支援法に基づく個別給付とし

て、地域移行支援・地域定着支援事業が行われる。

① 地域支援部会の開催

区分	日時	検討内容
第1回	平成23年7月6日(水) 15:00~17:00	・今年度の事業実施説明、対象者の検討 ・個別支援経過の報告と検討、連携の手引きの内容検討
第2回	平成23年11月11日(金) 15:00~17:00	・個別支援経過の報告、連携の手引きの内容検討 ・24年度からの個別給付化の動きの検討
第3回	平成24年3月9日(金) 15:00~17:00	・事業実績の報告、個別支援経過の報告と検討 ・24年度からの個別給付化の実施体制の検討

② 実務者会議の開催

開催回数	検討内容	出席者
年間5回	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画について ・対象者選定について ・地域支援部会について ・個別支援経過について ・連携の手引きの内容について ・平成24年度からの個別給付化について 	県自立支援課 県精神保健福祉センター 保健予防課 地域生活支援センター 障害福祉課

③ 対象者の支援状況

(平成24年3月末現在) (単位:人)

年度	支援		対応結果		
	新規	継続	地域移行	継続	中断
20	7	7	1	5	1
21	8	3	1	5	2
22	11	6	2	7	2
23	9	2	2	5	2
合計	—	18	6	—	7

地域移行先: 自宅1、アパート1、グループホーム1、生活訓練施設1、共同住宅1、養護老人ホーム1

性別・年齢別 (平成24年3月末現在) (単位:人)

年齢	男性	女性	計
~29	1	-	1
30~39	1	-	1
40~49	5	2	7
50~59	3	1	4
60~64	2	-	2
65~70	1	1	2
70~	-	1	1
計	13	5	18

入院期間別 (平成24年3月末現在) (単位:人)

総入院期間	男性	女性	計
5年未満	4	2	6
5~9年	4	3	7
10~19年	3	-	3
20~29年	-	-	-
30年以上	2	-	2
計	13	5	18

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

精神障害者又はその疑いのある者について、ただちに入院させなければ、精神障害のために自身を傷つけ、または他人を害するおそれがある者に対し、法律に規定する警察の通報等に基づき、その者について指定医の診察をさせるため、滋賀県に対し通報等の経由事務を行う。

① 申請・通知状況 (単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	31	1	32
	女	21	4	25
	計	52	5	57
申請・通報状況	家族	1	-	1
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	3	2	5
	救急隊	-	-	-
	警察	33	3	36
	検察官	1	-	1
	矯正施設の長	14	-	14
	知事	-	-	-
	計	52	5	57

② 調査状況 (単位：件)

区分	申請	通報				計
	23条	24条	25条	26条	26条の2	
実件数	6	36	1	14	-	57
調査件数	6	36	1	14	-	57
診察件数 (27条)	4	25	-	-	-	29
緊急措置入院数 (29条の2)	3	13	-	-	-	16

③ 診察状況 (単位：件)

区分	大津市	市外	計
要措置	15	1	16
措置不要	14	1	15
計	29	2	31

(7) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移 (単位：件)

年度	17	18	19	20	21	22	23
滋賀県	54	51	61	41	24	56	55
大津市	15	12	22	8	6	15	16

② 入院状況 (単位：件)

区分	平成23年度末	本年度中増減		平成22年度末
		措置命令	措置解除	
男	3	10	9	2
女	-	6	8	2

(8) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告 (単位：件)

年度	17	18	19	20	21	22	23
入院届	244	309	302	303	295	332	331
退院届	243	290	307	290	294	348	347
定期病状報告	147	159	202	158	197	196	183

(9) 自殺対策

滋賀県大津保健所において、平成18年度から20年度まで、自殺予防対策の一環として、3年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成21年度からは、大津市保健所として、地域自殺対策緊急強化基金補助金も活用し、滋賀県大津保健所の事業を引き継ぐとともに、大津市自殺対策連絡協議会を設置する等、自殺対策に取り組んでおり、平成23年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内 容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策連絡協議会 第1回（平成23年6月30日）：出席者25人 事業計画、連携の手引きと自殺対策シンポジウムについての検討 第2回（平成23年1月26日）：出席者20人 連携の手引き、ハイリスク者対策についての検討
うつ病重症化予防促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津G-Pネット定着促進会議 第1回（平成23年6月30日）：出席者12人 医師会地区別懇談会の活用と自殺対策シンポジウムについての検討 第2回（平成24年1月26日）：出席者10人 うつ治療の調査結果、ハイリスク者対策についての検討 ・地区別交流会（医師会の移動懇談会の中で医師会行事として実施） 5・6組：平成23年10月22日、27人（精神科医4人） 1・2組：平成23年11月3日、19人（精神科医2人） 9・10組：平成24年3月31日、22人（精神科医2人） ・一般診療科へのうつ治療に関する調査を実施 対象：2医療機関217カ所、回収率82% ・精神科への一般診療科との連携に関する調査を実施 対象：精神科医療機関16カ所、回収率100% ・大津G-Pネット定着促進の取り組み報告書を作成、配布
人材養成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策研修会（平成23年7月29日） 参加者：49人 「自殺企図者への対応について」 講師：滋賀県立精神保健福祉センター 原田小夜主幹 体験学習：ロールプレイ 講師：滋賀医科大学附属病院 安藤光子看護師長 ・小中学校生徒指導関係者研修会（平成23年8月3日）参加者数：111人 講師：保健所保健師 ・ケアマネージャー研修会（平成24年1月24日） 参加者数：108人 講師：保健所保健師
普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間の啓発（平成23年9月9日）、自殺対策強化月間の啓発（平成24年3月1日）膳所駅で啓発用ティッシュとボールペンを配布 合計2,000個 ・大津市自殺対策シンポジウムを実施（平成23年9月16日）参加者：405人 第1部：北野誠氏講演会「死んだらあかん」 第2部：取り組み紹介と意見交換（自殺対策連絡協議会委員） ・健康フェスティバルでのストレス度チェック（平成23年10月16日） 参加者数：323人 ・出前講座「ストレスチェックをしてみませんか」 実施回数：8回、参加者数：272人

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 平成 23 年度被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	182
健康診断受診者証交付者数	10
医療特別手当受給者数	7
特別手当受給者数受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	126
保健手当受給者数	13
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	1

② 被爆者健康手帳交付年次別推移

(単位:件)

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
大津市	174	182	189	175	191	189	192	193	187	182
滋賀県	484	501	488	477	480	471	457	454	439	429

(2) 平成 23 年度原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況

(単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	195	192	193
受診者数	40	18	28
受診率	20.5%	9.3%	14.5%
要精検者数	18	3	14

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
対象者数	188	195	199	197	195	192	191	191	190	186
申込者数	43	5	41	44	41	43	35	39	35	32
受診者数	42	50	37	40	41	40	34	39	34	30
要精検者数	22	22	10	12	13	16	18	18	13	7

(4) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、または、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

平成 23 年度申請者数	4 人
--------------	-----